

# 5年保存水の保管方法についての大切なお知らせ

## 【お知らせ①】

保存状況により異なるペットボトル減圧変形について

奥長良川名水(株)

ペットボトル入りのミネラルウォーターは、長期保存した場合、容器内から高温により水分が蒸発したり、低温で空気が収縮することにより内部圧力が変化し、変形することがあります。どの程度減圧変形するのか、ペットボトル供給メーカーの富川化学工業株式会社（愛知県小牧市所在）の指導のもと実際の製品を保管し検査しました。

◆各条件にて長期間保管した製品

### A 製造直後の製品



正面

側面

天面

### B 空調室内(15℃~25℃)で5年保管製品



正面

側面

天面

### C 床下(5℃~15℃)で3年保管製品



正面

側面

天面

### D 培養器内(常時 35℃)で7年保管製品



正面

側面

天面

#### ◆減圧変形検査結果について

##### 【常温保存】

写真 **B** から空調管理した常温室内で 5 年間保管した製品に関してはペットボトル内の水の蒸発がほとんどなくペットボトルの減圧変形は起こっていません。

##### 【低温保存】

写真 **C** の床下で 3 年間保管した製品は空調室内の保管に比べペットボトル内の水温が低いため、ペットボトル内の空気が冷却され、空気が収縮し、ペットボトル内の圧力が低下しペットボトル上部へ引っ張られる現象が起きペットボトルが変形します。

##### 【高温保存】

写真 **D** の 7 年間 35℃ の過酷な条件で保管した製品は、中身の蒸発量が多くペットボトル内の内圧の変動が製造時から大幅に変動し激しい変形が起こります。

#### ◆まとめ

エコ意識の高まりから、ミネラルウォーターの包材（ペットボトル・キャップ）は薄くやわらかくなる軽量化が進んでおり、保存場所によっては容器が変形することがあります。

容器の変形は外部からの空気等が入らないことの証拠であり、減圧変形した製品のキャップを開栓すると元の形に戻ります。中の水は充填時とまったく同じ状態で保たれており問題ありませんので、安心してお飲み下さい。どうしても飲む事に抵抗がある場合には、天然水を使ったコーヒー、お茶、炊飯や料理としてご利用いただければ幸いです。

#### ◆ 5 年保存水を保管する際の留意点

##### 【留意点】

ダンボールは外気温が伝わりにくく、紫外線によって劣化するラベルの保護にもなりますので、必ずダンボールケースのまま保管して下さい。避難用のリュックなどに入れ替える場合は、遮熱冷温材などで覆い、横置きは変形が起きやすいため、キャップが上になるよう立てて保管して下さい。

##### 【保管場所の留意点】

- ・持ち出しやすい場所で、直射日光、高温多湿、寒冷の場所を避けて保管して下さい。

## 【お知らせ②】

高賀の森水 5 年保存水の「常温」の基準について

奥長良川名水(株)

ナチュラルミネラルウォーターのように保存基準が定められていない食品に、常温で保存する旨を表示する場合の「常温」について、食品衛生法、及び JAS 法のいずれも特に定義はありません。そのため当社では「常温」について自社基準を設けております。

自社基準につきましては各法での常温の定義を参考に、高温によるシュリンクラベル等の外部劣化の可能性と、衛生面の観点から 15℃－25℃としております。

保管場所の温度が 25℃を超える場合は断熱材を被せるなどの保護を行っていただきますようお願い申し上げます。

### ○ラベル内表記

- ・直射日光、高温多湿、臭いを避け、風通しの良い冷暗所で保管してください。

### ○自社基準の温度

- ・冷暗所（冷所）： 1℃－15℃
- ・常温： 15℃－25℃

### 【参考】各法での常温の定義

- ・食品衛生法の添加物の通則は 15℃－25℃
- ・日本工業規格 JAS K 0050:2005 化学分析方法通則は 15℃－25℃
- ・日本薬局方の通則は 1℃－30℃

## 【お知らせ③】

高賀の森水 5 年保存水の「外部からの影響」について

奥長良川名水(株)

### ○外部からの影響①【臭いが移ります】

- ・水は臭いが移りやすいため、臭いの強いものの側で保管することは避けて下さい。

### ○外部からの影響②【可塑剤でラベルが溶けます】

- ・ダンボールから出して防災リュック等で保管する場合、塩化ビニル樹脂素材、合成皮革等に含まれている可塑剤の影響でラベルが溶けますので、ビニール袋に入れる等、外部からの影響を受けないように保管して下さい。